

戦略的イノベーション創造プログラム (SIP)

2024年度

研究開発実施報告書

SIP 課題名「ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現する
プラットフォームの構築」

研究開発テーマ名「D&I 社会実現のための学び方・働き方に
関する実証研究」

研究開発期間： 2024年4月1日 ～ 2025年3月31日

研究開発責任者	氏名	石井クンツ 昌子
	所属機関	国立大学法人お茶の水女子大学
	部署	
	役職	理事・副学長

研究開発成果等の概要

【研究開発テーマ全体】

2024 年度には二つの実証研究におけるデータ収集・分析を積極的に進めた。実証研究 1（高校生を対象とした進路選択に関する大規模調査）では、進路選択に関する調査を現役の大学生を対象として実施した。そこで得られた結果を参考にして、高校生対象の進路選択及び D&I の意識についての大規模調査を行い、分析を進めている。実証研究 2（知・経験の D&I 実現のための家事支援調査）では、在宅勤務に関する企業と個人を対象とするアンケート調査を実施してデータ分析を行っている。また、家事動作調査は福井県にて実施し、さらに、男性の育児休業取得に関するデータを収集した。

【実証研究 1：高校生を対象とした進路選択に関する大規模調査】

2024 年度は現役の大学生に対する進路選択の時期や、D&I の意識調査を行い、高校生対象の調査の論点を洗い出した。そのうえで、高校生を対象とした進路選択や D&I の意識に関する大規模調査を実施した。結果については、現在、分析を行っている。

【実証研究 2：知・経験の D&I 実現のための家事支援】

2024 年度は「ポストコロナにおける在宅勤務の現状調査（アンケート調査）」を企業と個人に対して実施し、現在、分析を行っている。「家事動作調査」は福井県にて実施した。現在、映像データのアノテーション準備中である。また、同時に実施したインタビュー調査はコーディングが終了し、結果の検討を行っている。さらに、2025 年実施予定の「家事・育児に関する生活調査」に先駆けて、「男性の育児休業取得に関する調査」を計画した。全国と福井県において 2025 年 3 月上旬に実施し、現在、データ分析にとりかかっている。